

令和6年度 芸術科 「美術Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	4	●オリエンテーション	●美術Ⅱについて	■美術Ⅱを学ぶ意義を考える ■年間の学習内容を知る。 ■参考作品を鑑賞し、学習内容を理解する。 ■学習内容を再確認する。 「ポスター考える」（教科書p40～41） 色面分割によって、遠近感や立体感を表現する。	関心・態度 制作の様子 制作中の作品
	5	●観光ポスター（昨年度の続き）	■制作		
	6			地名を入れて完成 プラス点として自由画を描いても良い。	完成作品 プラス点の絵
	7		■鑑賞	■お互いの作品を鑑賞する。	鑑賞の様子
	8	●絵画・油彩	■課題の把握と発想・構想	■油絵の学習内容を理解する。（昨年度の教科書p134～135）（今年度の教科書p4～15） 重ね塗りと筆のタッチを知る。 画題は自由だが具象に限る。 ■参考作品などを鑑賞し、作者の主題、意図と表現の工夫などについて理解を深める。 ■作品イメージを考えながら、画題を探す。 ■主題を基に、アイデアスケッチなどにより形体、色彩、構成などを工夫して構図・構想をまとめる。 ■主題を追求し、表現方法を工夫しながら制作をする。	関心・態度 アイデアスケッチ 下書き 制作の様子 制作途中の作品
	9		■制作		
			■鑑賞		

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後 期	10	●アートボックス (早く完成した者は「顔の色面分割」を制作する。)	■完成 ■鑑賞 ■課題の把握と発想・構想 ■制作 ■鑑賞	■学習内容を再確認する。 空気遠近法ができているか。 タッチによる物の大小の描き方や質感の出し方を工夫して描いているか。 描き込みの仕事量の違いにより、主題の強調や画面構成のバランスをとっているか。 個性といえる自分だけの表現があるか。 プラス点として自由画を描いてもよい。	制作の様子 制作中の作品 完成作品 プラス点の絵
	11			■お互いの作品を鑑賞する。	鑑賞の活動の様子
	12			■蓄光粘土を使用したアートボックスの学習内容を知る。 ■粘土の特性を理解し、制作手順をよく考える。 ■参考作品を鑑賞し、学習内容を理解する。 ■明暗の効果を生かし、アイデアをいろいろ考える。 ワークシートに描く。 ■元になる箱をデコパネで作っていく。 ■あらかじめデコパネに彩色したり、裏面から細工をする土台作り等、効率のよい手順を再確認する。 ■のぞき窓を作る。 ■蓄光粘土を形にしていく。 ■のぞき窓から見える位置に蓄光粘土を固定する。 プラス点として自由画を描いてもよい。	ワークシート 多様な表現方法に関心を持ち主体的に創造使用とする。
	1			■相互に作品を鑑賞する。	制作の様子 制作中の作品 完成作品 プラス点の絵 鑑賞の活動の様子
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	主題を表現するために工夫することへの理解の深さと技能の習熟が身についている。
思考・判断・表現	制作過程の中で考えを改めたり、時にはやり直しをするなどの思考・判断ができ、より高い表現をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主題を考え構想を練ることも意欲的に取り組み、創意工夫を楽しみながら懸命に努力する。

4 評価の方法

上記の3観点から総合的に評価する。
(具体的内容：提出作品、授業の取り組み、鑑賞の態度等)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

●メッセージ

美術教育は、人間形成と創造性に大きく関わるものです。特に柔軟なものの見方、考え方は人としての幅を広げ、想像力、発想力は豊かな創造性の基盤となるものです。素直な心で表現し、主体的に関わることで豊かな情操を涵養できるよう心がけてください。

●授業時の注意点

- ・授業が始まる前に必要な準備を整え、制作時間を確保するようにしてください。
- ・作業に適した服装を各自で考え用意してください。
- ・公欠や欠席の場合は、早めに指示を受けに来てください。
- ・提出物は期限を厳守してください。